

製品安全データシート

会社名 クミアイ化学工業株式会社
住所 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 生産資材部 生産業務課
電話番号 03-3822-5180
FAX 番号 03-3827-0825
作成・改訂 2005年12月26日

整理番号 KF077-1

1. 製品名 エコホープドライ

2. 物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：Trichoderma atroviride SKT-1／一般名：トリコデルマ・アトロビルデ

成分及び含有量：トリコデルマ・アトロビルデ 1×10^8 cfu/g 以上 *

鉱物質微粉等

* cfu/g：1 g 当たりのコロニー数

化学式：糸状菌胞子

官報公示整理番号：

CAS No.：

国連分類：国連基準で評価して、危険有害物に該当しない。

国連番号：

3. 危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない。

有害性：体質によってかぶれることがある。

危険性：通常の使用方法で問題無し。

環境影響：通常の使用方法で問題無し。

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、異常を感じる場合は医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。異常を感じる場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。異常を感じた場合は医療措置を受ける。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。

消火剤：水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消火活動上の注意：特別な対応は必要無い。

6. 漏出時の措置

作業者に対する注意：作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、粉末等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。

環境影響に対する注意：環境への影響は小さいが、流出した製品が河川等に排出されないように注意する。

流出物の処理に対する注意：少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにする。皮膚又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。使用後の空容器は、一定の場所を定めて集積し、廃棄上の注意に従い処分する。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意：直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

8. 暴露防止措置

管理濃度：鉱物性粉じん $E = 3.0 / (0.59Q + 1)$

E ：管理濃度(mg/m³) Q ：当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)

(作業環境評価基準 厚生労働省告示第369号 平成16年10月1日)

許容濃度：日本産業衛生学会及びACGIHのいずれも設定されていない。

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用する。

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク、簡易防塵マスク

保護手袋：保護手袋（ゴム手袋）

保護眼鏡：保護眼鏡

保護衣：作業着、帽子、保護服（不浸透性）

9. 物理・化学的性質

外観等：類白色水和性粉末

10. 危険性情報

引火点：無し

発火点：無し

安定性：15℃以上の環境で、胞子が発芽する

凍結又は50℃以上で、胞子は死滅する

11. 有害性情報

刺激性（皮膚）：ウサギ 軽度の刺激性有り

刺激性（眼）：ウサギ 軽度の刺激性有り

感作性（皮膚）：モルモット 陽性

急性毒性（経口）：ラット 無し

急性毒性（経皮）：ウサギ 無し

病原性：無し

12. 環境影響情報

魚毒性：コイ LC_{50} 1×10^6 cfu/ml 以上（30日）

オオミジンコ EC_{50} 1×10^6 cfu/ml 以上（21日）

13. 廃棄上の注意

保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所（都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者）で、適正に処理を行う。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

農薬取締法（登録番号：第21434号）

化学物質管理促進法：非該当

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献：1) 製品安全データシートの作成指針（平成13年10月 社団法人 日本化学工業協会）
2) 水生生物と農薬 急性毒性資料編 1978年12月25日 （株）サイエンティスト社
3) 農薬中毒の症状と治療法（第10版） 平成16年4月 農薬工業会
4) 13901の化学商品 2001年1月23日 化学工業日報社
5) 化学物質管理促進法対象物質全データ 2000年3月24日 化学工業新報社

作成部署以外の連絡先

（財団法人）日本中毒情報センター 大阪（年中無休、24時間）

0990-50-2499（ダイヤルQ²：通話料と情報料1件315円）

072-726-9923（医療機関専用：1件2000円）

つくば（毎日9時～21時）

0990-52-9899（ダイヤルQ²：通話料と情報料1件315円）

029-851-9999（医療機関専用 1件2000円）
